

第2章

笠間市の環境は
どうなっているの？

第2章 笠間市の環境はどうなっているの？

2 - 1 環境基礎調査の概要

笠間市の環境の特徴や課題を把握するため、平成18年度に実施した環境基礎調査において、以下のとおり既存文献調査や市民・事業者を対象としたアンケートを実施しました。

既存文献調査

既存の文献資料や統計資料等を調査・整理し、笠間市の環境の現況を把握しました。

市民・中学生・事業者への環境意識調査

市民や中学生・事業者を対象に、環境意識調査を行いました。

	市民	中学生	事業者
目的	市内で暮らす市民(若年世代の中学生を含む)の環境保全に対する考え方や今後の環境行政に望むことを明らかにし、計画に市民の意向や視点を反映させるため		市内で活動を営む事業者の環境保全に対する考え方や今後の環境行政に望むことを明らかにし、計画に事業者の意向や視点を反映させるため
調査方法 調査対象	無作為抽出された市内在住の20歳以上の男女3000人を対象に郵送による配布・回収 公民館等で来館者を対象に調査(462人)	市内の全中学校の2年生を対象として、学校を通じて直接配布・回収	市内で事業を展開している210事業所を対象に、郵送による配布・回収
調査時期	平成18年11月	平成18年11月	平成18年11月
回収結果	1,705人 (うち郵送による配布回収 1243人 /回収率41.4%)	757人	



2 - 2 笠間市の環境の課題

1) 自然環境

市の環境を特徴付ける豊かな水辺の保全、水と緑のネットワークの形成

市域のほぼ中央部を貫流する涸沼川とそこに注ぐ多くの支流、点在する多くのため池、森のもたらず緑などが本市の豊かな自然環境を特徴付けています。

今後は、開発により自然が損なわれた地域について計画的に自然を再生し、整備していくとともに、緑と水のネットワークを形成することにより、水や緑に身近に親しめる場、貴重な動植物の生息の場として保全・活用していくことが必要です。



涸沼川(吉原橋付近)



巴川

優れた自然風景地の保全に向けた風致地区 等の地域指定の推進

本市には、八溝山系から連なる山々、愛宕山を中心とする丘陵地帯など緑豊かな山並み、涸沼川などの水辺、平野部に広がる田園地帯、点在するため池など、優れた自然の風景地が随所に存在します。

これらを保全するために、風致地区や緑地環境保全地域等の指定を推進していくことが必要です。



山並みを背景とした田園風景



稲田緑地環境保全地域

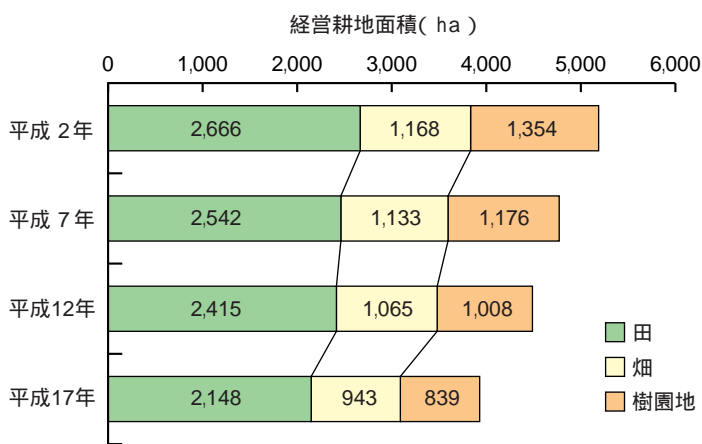
植物の水やりや泥落としは雨水利用。堅桶を古浴槽で受ける。

田畑の保全・活用による、多様な公益的機能の向上

本市の土地利用の約3割を占める田畑が、市街化の進展や農家数の減少、高齢化等に伴い年々減少しています。担い手不足等により耕作放棄地も増えています。また、ほ場や水路等の整備など農業の近代化により、生産性は向上したが、生物がやや棲みにくい環境に変わってきています。

食糧生産のみならず、景観保全や様々な生物の生息の場といった多様な公益的機能を向上させるために、生態系を再生させ農地の保全・活用を図っていくことが必要です。

経営耕地面積の減少



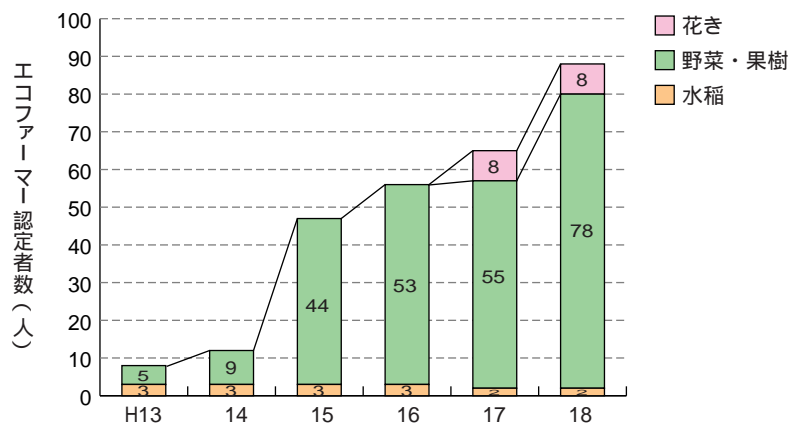
田園風景(矢野下付近より)

食の安全・安心志向に向けたエコファーマー 及び有機農業者の育成

近年の消費者の食に対する安全・安心、環境についての関心の高まりに合わせ、環境の保全と作物の生産性の調和を保ちながら持続的に行う環境保全型農業が盛んに行われています。これを実践する「エコファーマー」も年々増加しています。

引き続きこうした取組を支援し、着実に定着させていくことが必要です。

エコファーマー認定数の推移



笠間クラインガルテンを中心としたグリーンツーリズムの振興

笠間クラインガルテンを中心に、誰もが笠間の自然や農業を気軽に楽しめる施設や環境を充実させ、グリーンツーリズムの振興を通じて美しい農業生産環境の維持・創出や交流拡大による農林業への理解促進、環境学習の場の創出などを図っていくことが必要です。



笠間クラインガルテン



農産物直売所



2) 快適環境

地域の自然環境や歴史的環境との調和のとれた個性ある街並みの保全・創出

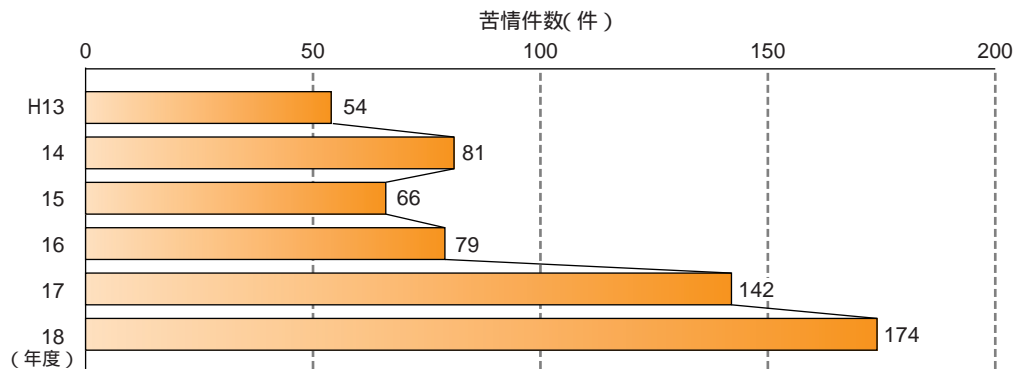
本市は、自然と歴史のなかで形づくられた個性ある市街地や豊かで美しい自然・田園からなる空間を背景に、活力と新たな交流基盤となる高速道路網や拠点開発が着実に進んでいます。

住環境や市街地の整備、生活や産業の拠点づくりなど、今後の市街地開発においては、笠間固有の自然環境や歴史的環境との共生を基本としながら、調和のとれた個性ある街並みを保全・創出していくことが必要です。

不法投棄に対する監視体制の強化や規制的手法の適用

不法投棄は公害苦情の中でも件数が最も多く、年々増加する傾向にあります。現状を見ると、啓蒙活動だけでは抑制効果に限界があるため、監視体制の強化や規制的手法の適用なども含め、適切に対処していくことが必要です。

【参考】不法投棄に関する苦情の状況



不法投棄防止を呼びかける看板



山林に不法投棄された家庭ごみ

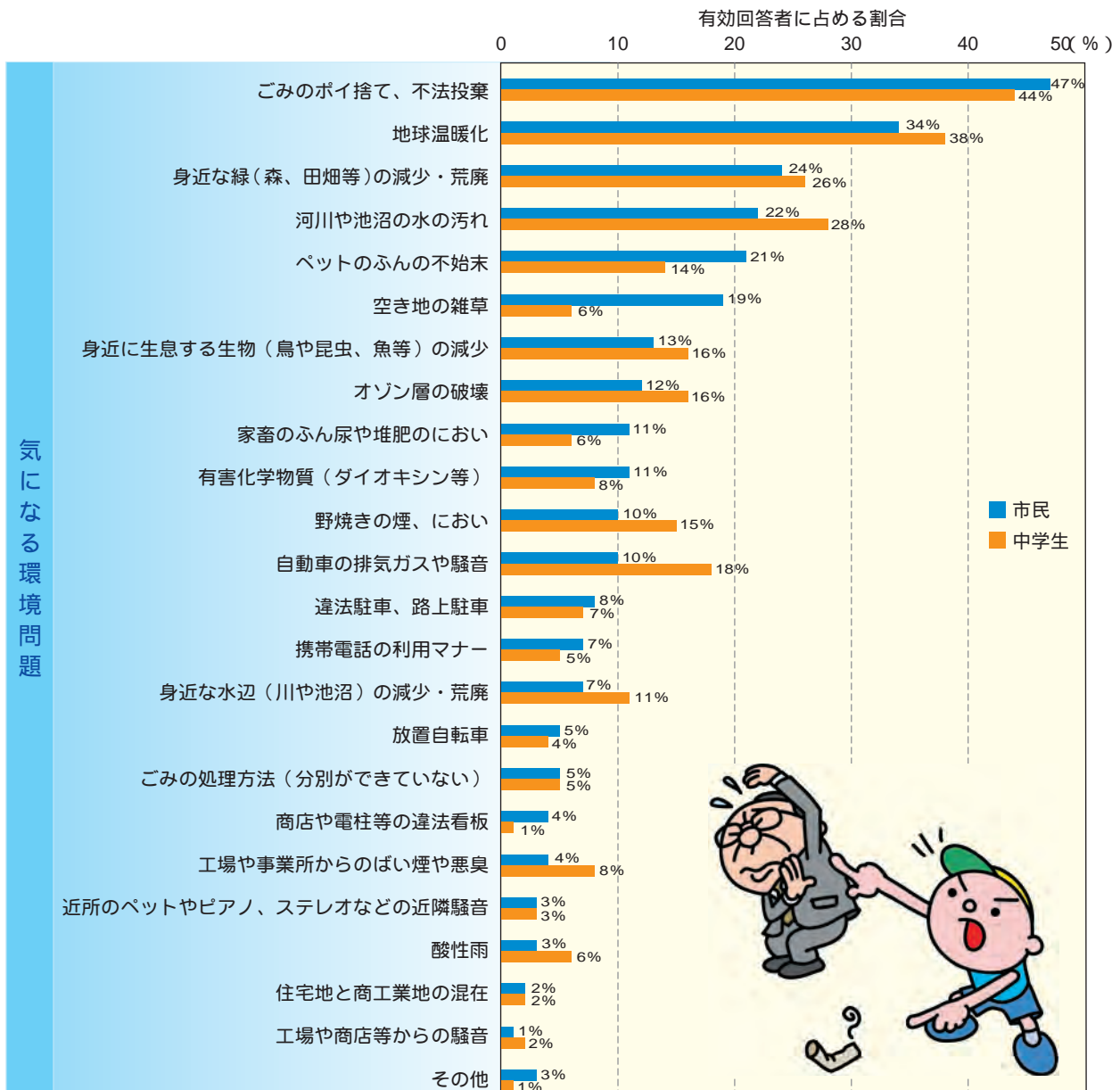
近隣に配慮した暮らしのマナーやモラルの周知徹底

ごみのポイ捨て、ペットのふんの不始末、野焼きなど、近隣に配慮した暮らしのマナーやモラルの欠如に起因するこれらの問題は、市民の高い関心を集めています。「笠間市すみよい環境条例」を適切に運用し、規制的な手法を使いながら、ルールやマナーの周知徹底に努めていくことが必要です。

【参考】笠間市の環境について（意向調査結果より）

問 現在、あなたが気になっている環境問題は何ですか。
次の中からあてはまるものを3つまで選び○印をつけてください。

*市民【有効回答 1630人、無回答・無効 75人】
*中学生【有効回答 742人、無回答・無効 15人】



少しでも不便な生活を心掛けています。近所の買い物は歩いて行きます。健康にもいいらしい！

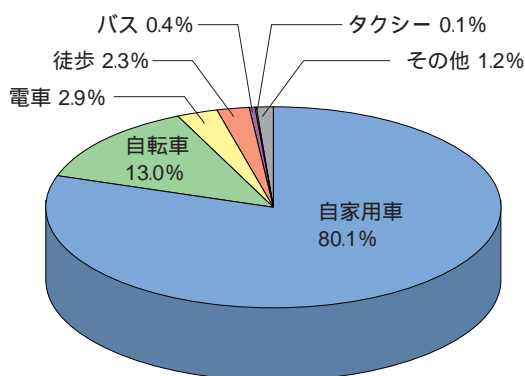
3) 生活環境

自動車に依存したライフスタイルからの転換促進

自動車に依存したライフスタイルがほぼ定着しており、騒音等による沿道環境の悪化や地域の大気環境への影響、温暖化など地球環境に対する影響が懸念されます。

短・中期的にはエコドライブ等の環境に配慮した自動車利用の促進を、長期的には自動車に依存したライフスタイルからの転換促進を重点的に進めていくことが必要です。

笠間市における日常生活での主な移動手段
(意向調査結果より)



朝夕の駅の送迎などで自動車の往来のある友部駅前通り

野焼きに関する近隣に配慮したルールやマナーの周知徹底

近年、ダイオキシン対策等によりごみの野外焼却が禁止されています。

落ち葉の焚き火など一部禁止の例外のものであっても、煙や臭いが近隣の迷惑になることがあり、野外焼却に関する苦情が市に多く寄せられています。

近隣に配慮したルールやマナーの周知徹底が必要です。

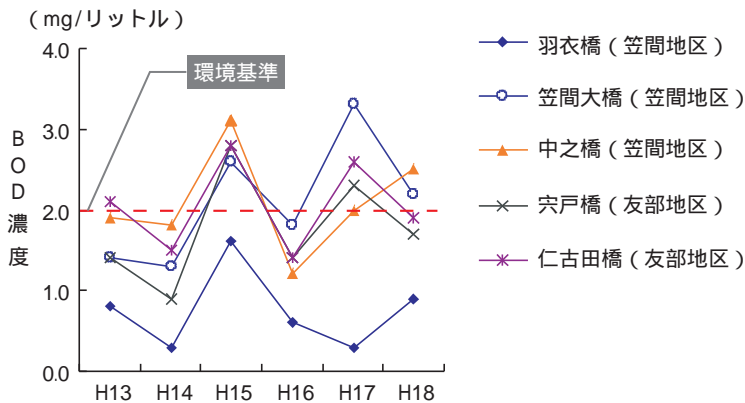


野外焼却は禁止です。(写真はイメージ)

生活雑排水対策による涸沼川の汚濁負荷低減

涸沼川は、水質汚濁の指標であるBOD が環境基準を超過しており、改善が必要です。特に生活雑排水による汚濁負荷を低減するため、公共下水道や農業集落排水の整備、浄化槽の設置などを促進していくことが必要です。

涸沼川の水質状況 (BOD : 生物化学的酸素要求量)

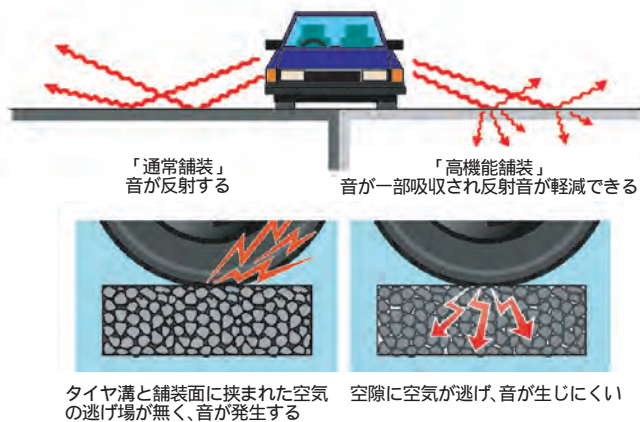


涸沼川(中之橋)

国道50号沿道における騒音対策

市内を通過する国道50号の沿道では、道路交通騒音が環境基準のみならず、要請限度を超過している地点もあることから、沿道の良好な住環境を保全するため、必要に応じて低騒音舗装(排水性舗装)などの対策を道路管理者に要請していくことが必要です。

【参考】低騒音舗装(排水性舗装)の概要



自動車交通量の多い国道50号(金井付近)

出かける時はいつも買物袋を二つ持って行きます。習慣になればレジ袋を買わないのが当たり前になります。

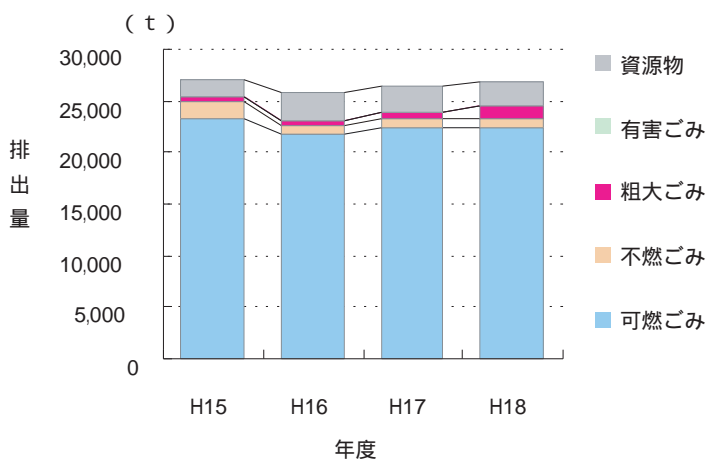
4) 循環型社会・地球環境

市民や事業者と協力・連携した3Rの取組推進

ごみの減量化(Reduce)や再利用(Reuse)、再生利用(Recycle)などの3Rの取組は、最終処分場のひっ迫や、資源の枯渇、地球温暖化問題など、直面する多くの環境問題に共通する解決策の一つです。

3Rは市民や事業者が主体的に取り組むことができることから、今後も市民や事業者との協力・連携のもと一層の取組推進が必要です。

一般廃棄物の排出量の状況



地球温暖化防止に向けた個人や地域でできる取組

気温の上昇や異常気象の増加、動植物への影響など、地球温暖化の影響と考えられる現象がいたるところで顕在化しています。

地球温暖化防止は人類共通の重要な課題であり、その防止に向け、日常生活における省エネの徹底や省エネ型製品の普及促進、燃費効率のよい自動車利用、環境負荷の少ない事業活動の促進など、まずは個人や地域でできることから積極的に取り組む必要があります。



5) 環境教育・環境学習

環境教育・環境学習に関する長期的・総合的な視点からの取組

現在は、環境保全に熱心な市民団体の方々の協力を得ながら、環境教育・環境学習が実施されています。

今後、より一層展開していくためには、指導者や講師となれる地域に根ざした人材を育成し、積極的に活用していく必要があります。

また長期的かつ総合的な視点から、計画的に取り組んでいく必要があります。



自然観察会



巴川探検隊

市内の環境に関する資料や情報提供体制の整備・充実

児童・生徒や市民の地域に根ざした主体的な環境学習を促すために、市内の環境に関する資料や情報を提供する体制の整備・充実が必要です。



環境コーナー(環境センター)



エコフランチアかさま内の環境学習施設

ちょっとだけ不便な生活を目指しています。マイカーを使わずに電車など公共機関を利用して通勤しています。